

令和6年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」
第1回「里山の豊かな自然を体験」（テーマ：自然・里山）

- 実施日時 令和6年7月26日（金）10時00分～15時00分
- 実施場所 八王子滝山里山保全地域
- 受講者数 13名
- 実施方法 対面
- 実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

講師：NPO 法人自然環境アカデミー 野村亮氏、谷村春樹氏

(1) 事前講義

○環境学習のポイント ～体験の重要性～

東京の豊かな自然を体感しながら自然観察を行い、子供たちが自分で考え発見し感動する力を養い、自然の多様性と面白さを分かりやすく授業で伝える方法を学ぶ。

○八王子滝山里山保全地域について

里山は人が手入れをした2次的な自然である。そのため、そこに住む生物はそれに依存しているものも多い。（例：田に住む生物は、年の半分は水の中、半分は乾いた土地に住んでいる。自然ではあまり考えられない環境である。）人工的な自然のおかげで、新しい形の生物多様性を見ることができる。



(2) 体験活動

①自然観察会

八王子滝山里山保全地域の田んぼや畑、林部分等を散策し、多種多様な動植物の特徴の説明を受けながら観察した。参加者は自身が気になる植物を観察し、形や匂いなど気になることを発見し、子供たちが興味を持ちやすい点などを探しながら行った。興味を持った植物に関しては、「②里山の植物を使って作品作り」にて使用するため採取も行った。

散策する中で、保全地域になる前の状況からどのように整理し現在の状況になったのか、さらに今後どのように活動し行こうとしているかなどについても説明があった。



②里山の植物を使って作品作り

散策の際に採取した自分が気になった植物を使用し、作品作りを行った。作成後は、一人ずつ作品名と作品の紹介を行った。



③グループワーク・情報交換会

梅坪会館にて、自然観察体験について気づいたこと、授業として取り組む際の課題等についてディスカッションや意見交換し、班ごとに発表した。

(質疑応答及び受講者同士の意見発表)

- ・里山に来て、自然に触れてとてもリフレッシュできた。きっと子供たちも同じ気持ちになると思うので、体験をさせたい気持ちになった。
- ・肢体不順の児童はすぐに里山などの自然体験をすることは難しいが、町探検をしてから自然を探そうなど段階を踏んでまずは身近な自然からチャレンジしたい。
- ・自然を使った遊びが面白いと思った。この植物でどんな遊びができるか考えたり、感じたりすることが大切だと思った。
- ・自然に興味が無い児童だと、1回だけでは壁があり興味を示さないと感じた。何度か訪れることで、興味関心が出てくると思うので、1度ではなく何度も来ることができる時間と予算が欲しい。

(実施例や課題に対する講師からのアドバイス)

- ・ 都会にも自然はあるので、町探検など段階を踏んでいくことは良いと思う。
- ・ 児童にも体験は大切だが、先生にも体験が必要。感動、疑問など、色々感じて、教室で活かしてほしい。



◎アンケート記入等（事務局） アンケート提出後、解散